



知っていますか？ ごみ処理経費

ごみを処理したり、資源物をリサイクルするためにはお金がかかります。これらの費用は指定ごみ袋の販売手数料や資源ごみの売却収入のほか、市民の皆様からの税金で賄われています。

◆ごみ処理実績

種類	平成27年度	平成28年度	平成29年度	市民1人当たり1日の排出量 (平成29年度)
可燃ごみ	12,064 トン	11,823 トン	11,401 トン	805 グラム
不燃ごみ	1,713 トン	1,660 トン	1,773 トン	125 グラム
資源ごみ(紙類)	657 トン	671 トン	664 トン	47 グラム
合計	14,434 トン	14,154 トン	13,838 トン	977 グラム

◆ごみ処理経費

	金額	市民1人当たり年間負担額
平成29年度	約 6 億 7,861 万円	17,482 円

※上記金額は、ごみ収集・処分業務に係る人件費のほか、施設・設備の維持管理費、指定ごみ袋に係る費用などが含まれています。

ごみを減らすとどうなる？



- 収集運搬する重量が減り、車両の燃料費や焼却施設の電気代を節約できます。
- ごみが減ると焼却灰も減るため、最終処分場の延命化や費用の削減につながります。

リサイクルマーク
(紙製容器包装識別表示マーク)

どうすればごみを減らせる？

- 生ごみを出す場合は水切りをしましょう。
 - ・生ごみの約80%は水分と言われています。水分を減らすことで焼却効率が増し、ごみの減量化につながるだけでなく、悪臭や腐敗の防止にも効果があります。
- 紙類の分別をしましょう。
 - ・市では、新聞・段ボール・雑誌類のほか、レトルト食品の外箱などリサイクルマークのついた紙類も、資源ごみ(雑誌類)として収集しています。
 - 日常のごみ出しに少しの手間を加えるだけで、ごみの減量化につながります。市民の皆様のご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】 市民生活課 環境企画・公害担当 (市役所1階②番窓口) ☎ 3 2 ・ 2 1 4 7 / F A X 3 3 ・ 2 2 3 4 / Mail : seikatsukankyo@city.komatsushima.i-tokushima.jp

国土交通省四国運輸局による 地域公共交通 シンポジウム

シンポジウム前半は、地域公共交通の現状と課題をわかりやすくお伝えし、地域住民・行政・交通事業者などが連携した取組事例を紹介いたします。後半は、パネルディスカッションを行い、参加者の皆様と一緒に持続可能な公共交通について考えていきます。皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】 11月12日(月)

午後1時～4時30分

【場所】 市ミリカホール

【定員】 100名

※参加費は無料ですが、事前申し込みが必要です。(申込み締切11月8日(木))

【お問い合わせ・申込先】

国土交通省四国運輸局交通政策部交通企画課

☎ 0 8 7 ・ 8 0 2 ・ 6 7 2 5 / F A

X 0 8 7 ・ 8 0 2 ・ 6 7 2 3

Mail: skt-shikoku-koutuukikaku@m

lmlt.go.jp